

Julabo Case Study

JULABO FP50-HL

10L反応器を+20°Cにした時の温度安定性



目的

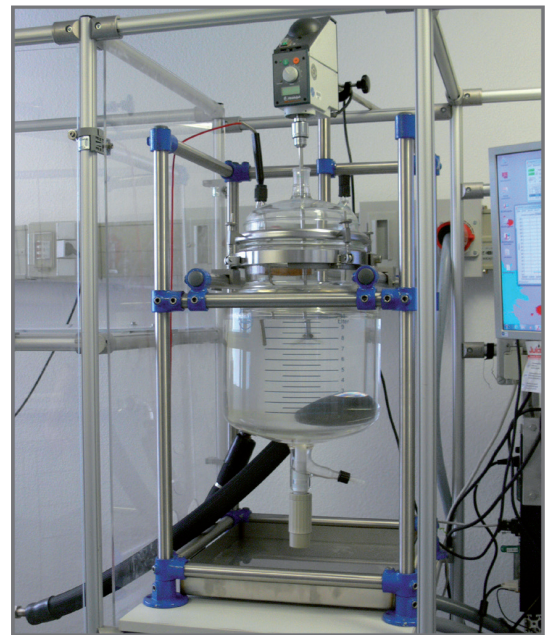
本ケーススタディは、ユラボFP50-HLと10Lのガラス反応器を接続し温度安定性をテストしました。FP50-HLには2mのメタルホースを接続します。FP50-HLは+20°Cに設定しました。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz

テスト条件

ユラボ装置	FP50-HL
冷却能力	+20°C 0.9kW 0°C 0.8kW -20°C 0.5kW
加熱能力	2kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.4bar
循環液	ユラボサーマルH10
反応器	10Lガラス反応器(Normag) 10LのサーマルH10を充填
ジャケット容量	5L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

次ページグラフ参照:
FP50-HLで+20°Cまで冷却し、その後+20°Cで約10分間運転したところ、温度変動は±0.01Kでした。

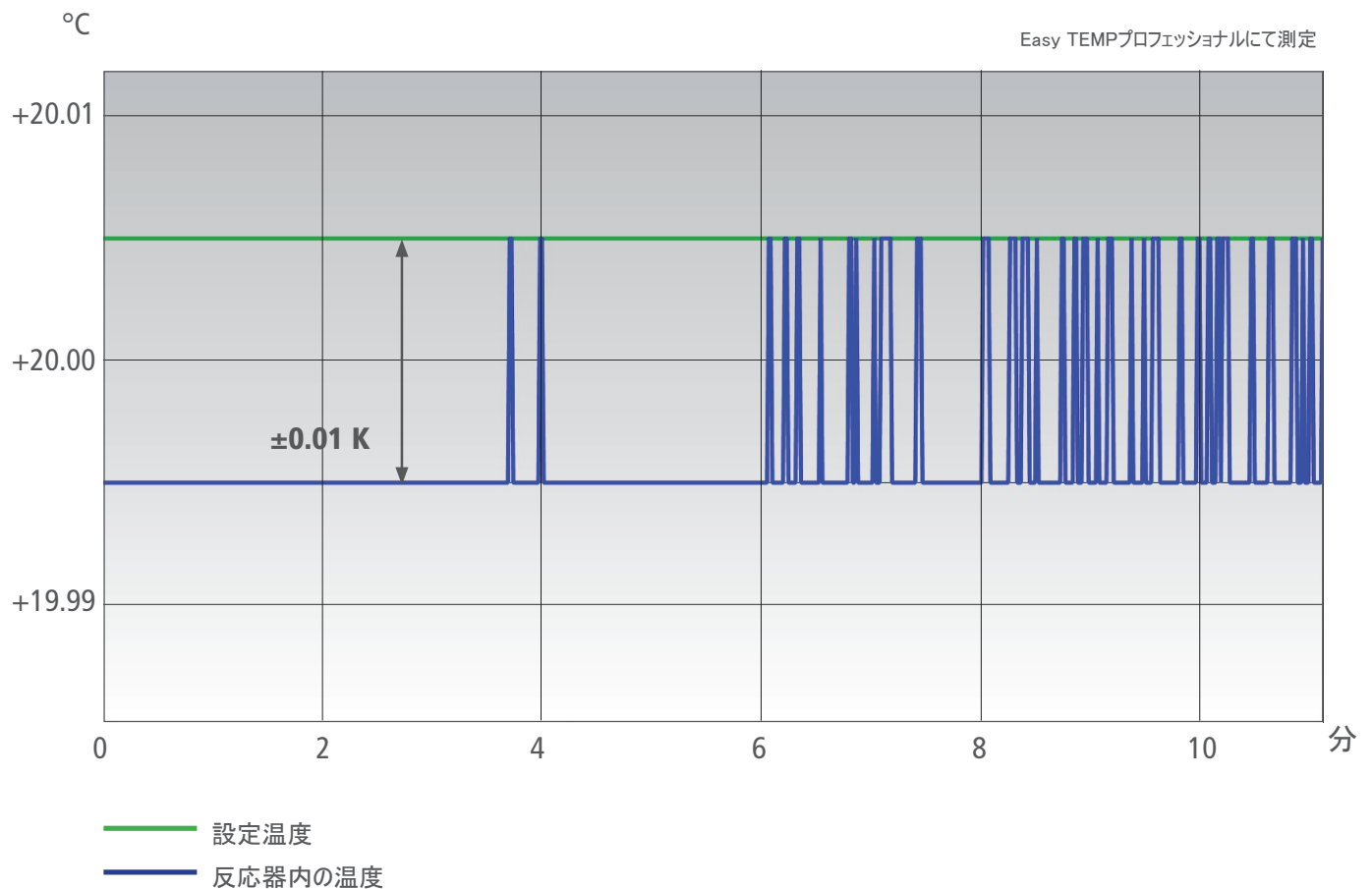
特徴

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。

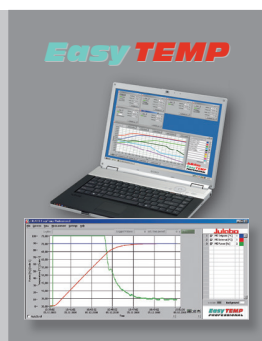


JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



特徴

無料のEasy TEMP
ソフトを使用すれば
PCから装置を
制御できます。
また温度グラフも
表示できます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0